

ほっと
ひといき



子育て相談室

子育て中のお母さんのお悩みに、育児の専門家 徳田克己先生がワンポイントアドバイス♪



Question!



子育てママさん

子どもを叱りすぎてしまう・・・

Answer!



徳田先生

実は、子どもに関する相談で最も多いのが、「子どもの叱り方」です。子どもを思うあまり、叱りすぎてしまい、自己嫌悪におちいるお母さんは少なくありません。叱るときは、感情をあらわにするのではなく、メリハリをつけることが大切です。たとえば、道路への飛び出しなどの危険な行為、他人に迷惑をかける行為をしたときは、ビシッと叱ります。それ以外のときは、叱るのではなく、「お母さんは〇〇してほしくない。〇〇されると悲しい。」と伝え、その理由も教えてあげてください。子どもは叱られ続けると、「何をしても叱られる」と感じてしまいがち。やがて、うそをついてでも叱られまいとして、素直に反省ができなくなることもあります。叱り方にメリハリをつけることは、子どものためだけでなく、お母さんの心の負担を減らすことにも繋がるはずですよ。

まずは、これを意識して、子どもと接することから始めてみてください。



徳田克己先生

筑波大学医学医療系教授、教育学博士、臨床心理士。専門は子ども支援学、子育て支援学、気になる子どもの保育。アジア子ども支援学会会長、イオン1パーセントクラブ理事。「筑波大学発ベンチャー子ども支援研究所」の所長として、幼稚園や保育園の先生たちのコンサルタントとしても活躍。年間100件以上の講演を各地でおこない、育児に悩む方からの相談に応じている。著書に『親を感わす専門家の言葉』、『お母さんがうなずいた数だけ子どもは伸びる』、『育児の教科書「クレヨンしんちゃん」』など。